

## 「コウノトリ育む鳴門の人、環境、農業にふれるコウノトリ生息環境の現場学習会」が開催されました

地域のシンボルとして注目を集めているコウノトリとの共生をテーマに、その生息環境を取り巻く課題の解決や地域資源としての活用方策等について意見交換が行われ、鳴門市職員や吉野川流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会構成員及び鳴門周辺の農業・観光等の関係者が参加しました。



- 1.開催日時：令和元年6月21日（金）13：00～16：00
- 2.参加者：鳴門市職員、協議会構成員及び鳴門周辺の農業・観光等の関係者
- 3.開催場所：板東南ふれあいセンター（旧鳴門市立川崎小学校）、コウノトリの巣周辺のハス田
- 4.内 容：（1）吉野川流域生態系ネットワーク推進協議会の取り組み（徳島河川国道事務所）  
（2）鳴門市によるコウノトリとの共生（鳴門市長 泉 理彦氏）  
（3）コウノトリの生息環境と取り巻く課題について（屋外学習）  
説明者：徳島大学大学院社会産業理工学研究部 准教授 河口 洋一氏  
コウノトリ定着推進連絡協議会 会長 竹村 昇氏他  
れんこん研究会 理事長 野田 勇人氏  
（4）コウノトリを活かした地域振興策についての意見交換



### ■参加者からの主な意見■

- コウノトリれんこんの付加価値（生産された経緯）を明確化し、ストーリー化を図ることで販路拡大に繋がるのではないか。
- コウノトリれんこんの付加価値については、ウェブ上の情報も少ないためホームページで発信してはどうか。
- ビジネスマッチングを活用することで販路拡大に繋げていきたい。
- ツアーに関しては知識のあるガイドが説明することで、十分満足度を得られるのではないか。
- ツアーに関して、不適格業者防止のため、認証制度を設けるべきではないか。



会場の様子